

様式4

令和6年度 学校運営協議会評価報告書1

鳥取県立米子白鳳高等学校

学校長 中原 達夫

評 価 日	令和 6 年 7 月 4 日 (木)	
評 価・提 言		学校の所見・改善策
1 目標設定について ・学校がよい形で機能しており、多様な背景を持つ生徒に対応した目標となっている。 ・数値目標が示されているものに関しては、達成率が例年非常に高く、このまま維持をしてほしい。		・多様な生育歴、学習歴を持つ本校生徒に対応したよりよい目標となるよう工夫していきたい。 ・数値目標に関しては、既に非常に高い目標値となっており、このままの目標値を維持したい。
2 評価項目と目標達成のための取組について ・開校当時から生徒の登校の様子を見ているが、穏やかな登校風景になって、いい学校になってきていると感じる。養良高からのつながりがあるので困ったことがあれば地域が協力してくれると思う。		・地域との交流と協働が非常に高いレベルで実現できているため、今後とも高い関係性を保っていききたい。
3 具体目標について ・様々な背景を持つ生徒が入学しているが、個に応じた対応をしてもらっている。米子白鳳高校の良さを広げ、伝えて欲しい。		・個別の指導計画を作成している生徒はもちろん、その他の生徒に関しても、生徒ひとりひとりの課題に応じたきめ細かい指導に努めていきたい。
4 目標達成のための具体方策について ・地域との交流と協働について、銭太鼓の活動を通して、1年次には視線が合うことが難しかった生徒が、3年次になると、課題解決や提案ができる生徒に成長している。		・様々な体験活動をとおして、生き生きと活動できるようになった生徒も多く、できる限り体験活動を取り入れた教育活動を推進していきたい。
5 その他 ・生徒が作った花のプランターを小・中学校、淀江支所、淀江駅など淀江町内の各所に設置している。生徒が育てた花としてアピールし、学校理解やイメージアップにつなげてはどうか。		・アピールの仕方を工夫していきたい。 ・委員の方々は、非常に温かく本校を見守っておられ、また本校の教育活動に大変協力していただき、心強く感じた。